

日蓮教学研究所の取り組み

立正大学日蓮教学研究所は、日蓮教学および日蓮教団に関する諸般の研究や資料蒐集・研究成果発表などを行い、日蓮聖人の精神を顕揚することを目的として昭和29年に設立されました。本研究所は昭和19年に設立された宗学研究所を母体とし、その伝統と業績を継承しながら、時代に即応した活動を積極的に進めてきました。

そのなかでも、昭和25年からおよそ10年の歳月をかけて編纂・刊行した『昭和定本日蓮聖人遺文』（全4巻）は、国内外で日蓮聖人・日蓮教学研究の基本的なテキストとして認められ、研究者達から高い評価を得ています。また、『日蓮聖人遺文辞典』（歴史篇〈昭和60年刊〉・教学篇〈平成15年刊〉）は、日蓮遺文の読解・研究に必須の辞典として位置づけられています。この2冊の辞典のなかにも、本研究所の研究成果が込められています。さらに、近年においては京都本法寺、同本満寺の史料調査を実施し、その成果を『京都本法寺宝物目録』（平成13年刊）、『本満寺宝物目録』（平成22年刊）として刊行しています。

いっぽう若手研究者の育成については、宗門から多大なご理解・ご支援を頂戴しながら、つとめてきました。特に昭和48年に始まった宗費生制度によって、宗門から本研究所研究生に経済的なご支援が頂けるようになり、研究に専念できる環境を得て、研究職の道に進んだ者も少なくありません。

本研究所のこれまでの業績や現在の活動内容を見ても、学内でもっとも活発に活動している研究機関の一つであるとともに、国内外の研究者・研究機関からも高い評価を得ています。これまでの研究所が積み重ねてきた実績をふまえて、今後さらなる発展を期したいと考えております。

立正大学仏教学部で学んでみませんか？ —今後の日程—

◎科目等履修生制度（僧階講座などを聴講する制度で、単位が取得できます）

—募集要項配布中— 受講説明会：大崎キャンパス：平成23年3月26日（土）

午後2時より1151教室（11号館5階）

受講申込み受付期間：平成23年3月28日～平成23年3月30日を予定

◎社会人オープン講座（単位認定はありませんが、学部長より修了証が交付されます）

—募集要項配布中— 出願期間：3月26日まで（土・日・祝日を除く）

※科目によっては、4月以降受け付ける場合もありますので、お問合せください。

提出書類：a. 社会人オープン講座受講志願票・誓約書（本学部所定のもの）

b. 写真（4 cm × 3 cm 上半身）1枚

申込場所：立正大学仏教学部事務室（社会人オープン講座係）

面接選考：平成23年3月31日（木）午後6時 立正大学大崎校舎9号館地下1階 9B11教室

平成23年度開設科目：インド仏教史、中国仏教史、仏教学概論、法華経概論、天台学概論、日蓮聖人伝研究、

立正安国論講義、開目抄講義、観心本尊抄講義、宗学概論、宗史概論、宗学史概論、

仏教古文書学（一）（二）、地域仏教研究（一）（二）、仏教デス・エデュケーション（2期）、

芸術実習ⅠA（仏像の鑑賞と実践）、インド哲学仏教学特講Ⅰ、

総合科目（美術）（教養的科目）、仏教学A（教養的科目）

特別開設科目：「地域仏教研究（三）B（国外研修）」、「地域仏教研究（四）B（国内研修）」

※国内外の仏教遺跡を巡る研究旅行です。

◎ミニオープンキャンパス（受験生のための学内見学会）

大崎校舎（全学部）：3月20日（日） 10：00～16：00

※学部ごとに展示ブースを設けています。奮ってご参加下さい。